

事業群評価調書(令和5年度実施)

基本戦略名	1-3 長崎県の未来を創る子ども、郷土を愛する人を育てる	事業群主管所属・課(室)長名	教育庁 学芸文化課	岩尾 哲郎
施策名	2 郷土を愛し、地域を支える心豊かな人材の育成	事業群関係課(室)		
事業群名	⑥ 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進	令和4年度事業費(千円)	※下記「2. 令和4年度取組実績」の事業費(R4実績)の合計額	34,920

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)		(取組項目)								
子どもたちの文化力の向上と裾野の拡大を図るため、市町教育委員会や中学校文化連盟、高等学校文化連盟と連携し、中・高の文化芸術活動の充実と活性化に取り組みます。また、子どもたちの豊かな人間性を育むため、鑑賞や成果発表の機会を提供します。		i) 中高文化部活動への支援や研修機会の実施 ii) 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供								
事業群	指標	基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	【進捗状況の分析】 「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを感じさせ、また、作品の鑑賞を通して、表現力の向上や豊かな情操の育成を図ることを目的として、県内の小・中学校及び特別支援学校小・中学生部の児童生徒を対象に作品を募集し、優秀作品の表彰及び作品展を開催している。 令和4年度も、80,000人を超える応募があった。平成17年度に県の主催事業となって以降、募集方法の改善や、作品づくりの授業への組み込みなどを推進した結果、令和4年度は80%を超える応募率となった。	
	「子ども県展」への応募率	目標値①	75.0%以上	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持	75.0%以上維持(R7)		
		実績値②	74.7% (R元)	79.6%	82.0%					進捗状況
		達成率②/①		100%	100%					順調

2. 令和4年度取組実績(令和5年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費(単位:千円)			事業概要	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)			令和4年度事業の成果等	
				R3実績	うち一般財源	人件費(参考)		主な指標	R3目標	R3実績		達成率
				R4実績					R4目標	R4実績		
				R5計画	R5目標	R5実績						
事業実施の根拠法令等				事業実施の根拠法令等								
事業期間		法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業	他の評価対象事業(公共、研究等)	事業対象							
所管課(室)名												
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費	18,042	18,042	6,232	中学校・高等学校の文化活動の推進と裾野の拡大を図ることを目的として、積極的に活動する部活動等を指定し、その活動に対する助成を行うとともに、県総合文化祭及び全国総合文化祭への参加費等への支援を実施した。	【活動指標】	45	45	100%	●事業の成果 ・中学校・高等学校の文化活動推進校指定事業による文化部活動への支援や、県総合文化祭開催及び全国高等学校総合文化祭参加への支援等により、県中学校文化連盟及び県高等学校文化連盟との連携が強化されるとともに、子どもたちの豊かな人間性の涵養や中学校・高等学校の文化活動の活性化の推進が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・出場した九州大会や全国大会において、文化活動推進指定校が優秀な成績を収めるなど、子どもたちの文化力の向上に寄与した。
				23,379	23,114	6,123		文化活動推進校(中・高)指定種目に指定した部活動数(部)	43	43	100%	
				23,453	23,453	5,402			46			
			H18-					【成果指標】	85	81	95%	
			学芸文化課	—	—	—	中学生、高校生、教員	強化指定種目(中・高)のうち九州大会以上に出場した部活動の割合(%)	85	85	100%	
									86			

取組項目 i	○	2	文化部活動地域移行推進事業費				本県中学生が、学校の部活動に代わりうる持続可能な文化活動の機会を身近な地域で確保できることを目指して、休日の文化活動の段階的な地域移行を進める市町に対する支援を行う。	【活動指標】 在り方検討委員会及び長崎県文化活動の地域移行検討会の開催回数(回)				—	
				4,661	1,425	6,173							
			(R5新規)R5-7	—									
			学芸文化課	—	—	—	中学生	【成果指標】 中学校における休日の文化部活動を地域へ移行する体制を構築した市町数(市町)	2				
取組項目 ii	○	3	部活動指導員配置事業費	421	421	3,895	部活動指導員を県立高等学校に2名配置し、市が市立中学校に1名配置する経費の一部を補助した。これにより、教員の部活動従事時間が縮減されるとともに、部活動指導員が専門的な実技指導を行うことで、教員の負担軽減を図った。	【活動指標】 文化部活動指導員の配置数(人)	3	3	100%	●事業の成果 ・配置校では、顧問の部活動に従事する時間が削減されるとともに、部活動指導員が専門的な実技指導を担うことにより、教員の負担軽減につながった。	
				136	68	3,827		3	3	100%			
				1,145	1,008	3,858		2					
				—				100	100	100%			
				—				100	100	100%			
			学芸文化課	—	—	—	教員	【活動指標】 文化部活動指導員の配置時間以上に教員が部活動に従事する時間数を縮減した学校の割合(%)	100	100	100%		
			R2-	—	—	—	教員	【成果指標】 配置校における当該部活動担当教員のうち負担を軽減できたと感じた教員の割合(%)	100	100	100%		
取組項目 ii	○	4	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業	2,667	2,667	4,674	子どもたちの図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創造の喜びを感じさせ、表現力の向上や豊かな情操の育成を図るため、県内小・中学校の児童・生徒を対象とする作品を募集し、優秀な作品の表彰及び展示(総合展・巡回展)を行った。	【活動指標】 子ども県展参加校数の割合(%)	100	87	87%	●事業の成果 ・「子ども県展」に向けた制作を通じて、表現力の向上と、県内の子どもたちの図画工作・美術に対する興味・関心を高めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・多くの子どもたちに創造の喜びを感じさせることを通じて、図画工作・美術に対する意欲・関心を高め、目標達成に寄与した。	
				2,213	2,213	4,592		100	89	89%			
				3,190	3,190	3,858		100					
				—				79,188	84,096	106%			
				H18-	—	—	—	小学生、中学生	【成果指標】 子ども県展応募者数(人)	78,267	85,605	109%	
				学芸文化課	—	—	—	小学生、中学生		77,082			
	○	5	子ども舞台芸術鑑賞事業		6,367	6,367	4,674	子どもたちの豊かな感性や情操を育み、文化活動の振興を図るため、音楽・古典芸能・児童劇の優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供した。	【活動指標】 青少年劇場公演数(公演)	25	20	80%	●事業の成果 ・優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、子どもたちの伝統・文化に対する理解を深め、豊かな感性や情操を育むことができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、文化芸術活動の充実に寄与した。
					6,974	6,974	4,592		22	22	100%		
					5,116	5,116	3,858		16				
				社会教育法			4,883	3,076	62%				
				H18-	—	—	—	幼児、小学生、中学生、高校生	【成果指標】 青少年劇場鑑賞者数(人)	4,884	4,556	93%	
				学芸文化課	—	—	—	幼児、小学生、中学生、高校生		3,929			
○	6	ながさき“若い芽”のコンサート開催費		1,799	1,799	4,674	子どもたちの豊かな心の育成と青少年の文化活動の振興を図ることを目的として、クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会を提供するため、ながさき“若い芽”のコンサートを開催した。	【活動指標】 コンサート開催回数(回)	1	1	100%	●事業の成果 ・クラシック音楽を志す子どもたちの発表の機会としてのコンサートを開催することで、子どもたちの感性と豊かな心を育み、文化芸術活動に取り組む人材の育成が図られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・成果指標目標値を超え、多くの子どもたちに発表の機会を提供することにより、文化芸術活動の充実に寄与した。	
				2,218	2,218	4,592		1	1	100%			
				2,594	2,594	3,858		1					
			社会教育法			155	174	112%					
			S62-	—	—	—	小学生、中学生、高校生	【成果指標】 オーディション応募者数(人)	158	173	109%		
			学芸文化課	—	—	—	小学生、中学生、高校生		160				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

<p>i 中高文化部活動への支援や研修会の実施</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・中高文化部活動は、全国大会において上位入賞や連続出場を果たすなど優れた成績を収めており、中高文化部活動への支援が成果として表れている。引き続き文化力の育成と裾野の拡大を図るため、持続的な支援を行う必要がある。</p> <p>・文化部活動地域移行は、段階的な移行を進める市町を支援することで、持続可能な文化活動の機会の確保に寄与している。今後は、地域の指導者の確保や地域の文化環境の整備推進を図る必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・中高文化部活動においては、県中学校文化連盟及び県高等学校文化連盟と連携し、引き続き、積極的に活動する部活動の活動経費及び県総合文化祭の開催経費等の支援や活動機会の充実を図る。</p> <p>・文化部活動地域移行においては、文化活動の指導者を地域で確保するため、指導者等人材リストを整備するとともに、持続可能な文化活動の機会の確保するため、市町に対して、指導者等人材リストの活用や地域移行モデルの周知を図る。</p>
<p>ii 小・中・高校生への優れた芸術の鑑賞機会、成果発表機会の提供</p> <p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>・音楽、古典芸能、児童劇の優れた舞台芸術鑑賞事業は、離島地域を含む多くの子どもたちに舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、豊かな人間性を育むことに寄与している。本事業は、子どもたちが優れた舞台芸術に直接触れることのできる有効な施策であるため、継続していく必要がある。</p> <p>・「子ども県展」は、県内小・中学校の図画工作・美術における学習活動の成果を発表する機会として広く定着し、子どもたちの目標の一つとなっている。一方で、80,000人以上の参加にかかる集計業務の煩雑さや特別支援学校の参加数の少なさが課題となっている。</p> <p>・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、子どもたちの発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す県内の子どもたちの目標の一つとなっている。今後は、生涯にわたって音楽に親しむ人材を育成し、さらなる文化活動の活性化を図る。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>・舞台芸術鑑賞事業は、引き続き学校間の合同開催や近隣住民の参加等を促すことで、多くの子どもたちや地域住民に舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術活動の充実を図る。</p> <p>・「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、kintoneを活用した業務改善や特別支援学校の参加拡大を図りながら、引き続き、子どもたちの図画工作・美術の学習成果を発表する機会を提供する。</p> <p>・「ながさき“若い芽”のコンサート」は、地域の文化団体や大人を対象としたコンサート等と連携して世代を超えた交流の機会を確保するとともに、引き続き、子どもたちの感性と豊かな心を育むため、子どもたちの音楽発表の機会を提供する。</p>

4. 令和5年度見直し内容及び令和6年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事業事業名 事業期間 所管課(室)名	令和5年度事業の実施にあたり見直した内容 ※令和5年度の新たな取組は「R5新規」等と、見直しが無い場合は「―」と記載	令和6年度事業の実施に向けた方向性		
					事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
取組項目 i	○	1	中学校・高等学校文化活動推進事業費 H18- 学芸文化課	さらなる文化芸術活動の活性化を図るため、県高等学校文化連盟と連携して、県高等学校総合文化祭における茶道部・華道部の活動機会の確保を支援することとした。	②	高等学校においては、引き続き地域や市町・学校の枠を越えた文化活動の推進を図り、県総合文化祭開催の支援や専門部の設置など、文化活動の活性化を図る。 中学校においては、平成30年度第18回全国中学校総合文化祭長崎大会の成果を継承し、引き続き文化活動の充実と活性化及び生徒の文化に対する意欲向上を継続的に図る。 また、中学校、高等学校ともに、積極的に活動する部活動の活動経費や県総合文化祭の開催経費を継続的に支援していく。	改善
	○	2	文化部活動地域移行推進事業費 (R5新規)R5-7 学芸文化課	R5新規	②⑧	持続可能な文化活動の機会を身近な地域で確保できる体制を整備するため、地域移行モデルの構築及び検証を行い、その成果を市町へ周知する。 また、引き続き指導者等人材リストの整備や指導者への講習会を実施することで、指導者の質と量の確保を図るとともに、国の事業を活用して、地域移行を段階的に進める市町への経費支援を行う。	改善
		3	部活動指導員配置事業費 R2- 学芸文化課	―	②	文化部活動指導員について、本年度配置校や他県での有効な活用事例の情報収集を行い、更なる効果的な活用方法について検討を行う。 また、その情報や検討内容について、各種会議などの機会を捉え県内市町へ広め、配置拡充の検討につなげる。	拡充

取組項目 ii	○	4	魅力あふれる児童生徒の作品展開催事業 H18- 学芸文化課	さらなる文化活動の活性化や裾野の拡大を図るため、展示数の少ない特別支援学校への参加のよびかけを強化するとともに、県造形教育研究会と連携して、kintoneを活用した業務改善システムの試行を行うこととした。	②	引き続き、子どもたちが図画工作・美術の作品を発表する機会を提供することにより、子どもたちの図画工作・美術に対する関心を高めるとともに、豊かな情操の育成を図る。また、県造形教育研究会との連携を密に図りながら、より多くの子どもたちが参加できるよう働きかけるとともに、業務改善に向けたシステムの運用を行っていく。	改善
	○	5	子ども舞台芸術鑑賞事業 H18- 学芸文化課	子どもたちが優れた舞台芸術に触れる機会を、平日だけでなく土日も活用して提供することにより、子どもたちの豊かな心の涵養を図ることとした。	②	音楽・古典芸能・児童劇など優れた舞台芸術の鑑賞機会を引き続き提供することにより、伝統・文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度や文化芸術を愛好する心情や感性を育み、豊かな心の涵養を図る。今後も、学校間の合同開催や近隣住民の参加等を促すことで、多くの子どもたちや地域住民に舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術活動の充実を図る。	改善
	○	6	ながさき“若い芽”のコンサート開催費 S62- 学芸文化課	オーディションの一般観覧を再開することで音楽に親しむ子どもの裾野の拡大を図るとともに、「ながさき”若い芽”のコンサート」における発表に加えて、県文化団体協議会と連携し、新たな発表の機会を設けることで、世代を超えた交流の場を確保し、生涯にわたって音楽に親しむ人材の育成を図ることとした。	②	「ながさき”若い芽”のコンサート」は、声楽、ピアノ、弦楽器・ギター、管・打楽器の4部門で構成され、子どもたちの音楽コンクールとしては、県内では他に類がない充実した内容の事業である。さらに、子どもたちの音楽の発表機会として広く定着し、クラシック音楽を志す子どもたちの目標の一つとなっている。子どもたちの感性と豊かな心を育むとともに、さらなる文化芸術活動の機会充実を図るため、地域の文化団体と連携して、子どもたちの発表の機会を確保していく。	改善

注:「2. 令和4年度取組実績」に記載している事業のうち、令和4年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

- ① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。
- ② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
- ③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
- ④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
- ⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
- ⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
- ⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改正要望)する必要はないか。
- ⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
- ⑩ その他の視点